

宇都宮市立富士見小学校 第5学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「漢字の読み方や言葉の意味が分からないときは、辞書を使って調べている。」の問いでは、肯定的回答が73.6%で、県の平均を5.1ポイント上回った。さらに辞書を活用していくよう支援をしていきたい。

●「家で自分で計画を立てて勉強をしている。」の問いでは、肯定的回答が66.0%で、県の平均を6.0ポイント下回った。「家で学校の授業の予習をしている」の問いでは、肯定的回答が39.6%で、県の平均を14.9ポイント下回っている。「家で学校の授業の復習をしている」の問いでは、肯定的回答が57.5%で県の平均を8.0ポイント下回った。家庭学習の大切さを理解させるとともに、自主学習の内容と方法を指導し、進んで取り組む意欲を育てていきたい。

○「授業では、自分の考えを発表する機会を与えられている。」の問いでは、肯定的回答が89.6%で、県の平均を7.9ポイント上回った。「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である。」の問いでは、肯定的回答が56.6%で、県の平均を7.5ポイント上回った。今後も、児童が考えを発表する機会を積極的に設けていきたい。

○「授業中クラスの友達と話し合う活動をよく行っている。」は90.6%で県の平均を6.3ポイント上回った。「クラスの友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めている。」の問いでは、肯定的回答は82.1%で、県の平均を6.4ポイント上回った。今後も友達と学び合う指導を充実させたい。

●「授業で分からないことがあると先生に聞くことができる」の問いでは、肯定的回答が67.9%で、県の平均を5.8ポイント下回った。先生に質問できる時間の確保にできるだけ努めるとともに、質問しやすい雰囲気育てたい。

○「時間を上手に使うことを心がけている」の問いでは、肯定的回答が84.0%で、県の平均を5.2ポイント上回った。更に効率的な時間の使い方を支援していきたい。

○「家の人と将来のことについて話すことがある」の問いでは、肯定的回答が71.7%で、県の平均を5.8ポイント上回った。「家の人はあなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」の問いでは、肯定的回答が90.6%で、県の平均を8.9ポイント上回った。家の人とのコミュニケーションがうまくいっていることが分かる。

○「次の教科の問題を解く時間は十分でしたか。国語」の問いでは、肯定的回答が84.0%で、県の平均を10.1ポイント上回った。国語の問題を解くことが得意な児童が多いことが分かる。

○「自然や宇宙など科学の内容を扱っているテレビを見たり本を読んだりするのが好きだ」の問いの肯定的回答は78.3%で、県の平均を5.3ポイント上回った。科学に興味を持つ児童が多いので、さらに伸ばしていきたい。

宇都宮市立富士見小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
基礎的・基本的な知識・技能の定着	一単位授業の指導過程において「つかむ」「考える」「深める」「確かめる」という学習形態を展開する。	4・5年生ともに、算数のほとんどの領域において県や市の平均を下回っている。